廃棄物減量等推進審議会会議 会議結果

会 議 名	第 2 回木津川市廃棄物減量等推進審議会		
日 時	平成 30 年 8 月 22 日 (水) 午後 2 時 00 分から	場 所	木津川市役所 4 階 4-3、4-4 会議室
出 席 者	委 員	■橋本委員 (会長)、□浅利委員 (副会長)、■須内委員、■関河委員、 ■…出席 ■中川委員、■石田委員、□小池委員、■中尾委員、■中島委員、■西委員、 □…欠席 ■山本委員、□新井委員、□可知委員、■城野委員、■中岡委員、■目片委員	
	その他 出席者	傍聴人 : 5 人	
	庶 務	市民部 金森部長、山本次長 まち美化推進課 高味課長、中島係長、櫻井主事	
議 題	1 開 会 2 議 事 (1) 確認事項 ・ 第 1 回審議会の確認と本日の進め方 ・ 家庭系可燃ごみの排出量と財源見込額 (2) 審議事項 ・ 家庭系可燃ごみの減量等に向けた事業の検討 ・ 継続的な点検・評価・改善の仕組みについて 3 その他 ・ 次回開催日程 平成 30 年 10 月 9 日 (火) 4 閉 会		

会議経過	会 長	<p>皆さん、こんにちは。お暑い中、また、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。まだ一名来られていない方がいらっしゃいますが、定刻となりましたので始めさせていただきます。</p> <p>本日ですが、次第にもありますとおり、審議事項として本審議会に諮問を受けた内容である有料化の財源を元にした家庭系可燃ごみの減量に向けた事業の検討、それから継続的な点検・評価・改善の仕組みについて議論することとなっております。中身の議論に入っていきますので是非活発なご意見をいただければと思っております。</p> <p>前回、私の責任なのですがかなり時間を超過してしまいました。本日は長めの時間を取っていただいておりますが、途中でご退席されるようになると審議会としての皆さんのご意見をしっかりと抽出できなくなってしまいますので、運営の方にもご協力いただければと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>本日は、委員 16 名中、過半数を超える 12 名の委員の方にご出席いただいておりますので、木津川市廃棄物減量及び適正処理等に関する条例施行規則第 8 条第 2 項の規定によって、会議は有効に成立しております。</p> <p>次に、本日の議事録署名委員につきましては、名簿の順番で関河委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p>
	中川委員	<p>大きく 2 点あります。1 点目は、この間長くなって、誰が長くしたんだ、俺やなどさっきも言っていたんですが、パワーポイント使って準備していただいて、前回言っていたことを早速採り入れていただいてその点はありがたいなと思いますし、それだけじゃなしにこの間の発言内容を議事録にほとんど載せてくれているので、相当時間がかかったなと思って、その 2 点に関してとりあえずは事務局の方々、ご苦労さんでした。褒めるときは褒めとかなないと、批判的なことばかり言ってもなんだから。</p> <p>あとはこの中身を見ていかないとと思っているんだけど、それと分厚いこの間のをずっとピックアップしてもらっているのはいいんですけど、紙として大分分厚くなっていますし、委員全員に配るのだと紙媒体を使わないといけなだろうから、それならば配らずにどうしても必要だという委員はコピーをもらうというやり方なりで紙を減らしていてもいいんじゃないかなと思ったんですけど、財政逼迫と言うか、職員の給料もカットするんだったら、紙を減らしてカットして、職員の給料のカットは無しにしていく方がいいんじゃないかなと思いました。</p> <p>次もう 1 点ですけども、進行に関わってなんですけど、前は時間が長くなって結局数名の方が退席されて、その中で次の日程を決めていくということがありましたので、冒頭でなくても途中なりの間にでも、先に次回はいつやるかということをお委員がおられるときに決めた方がいいのかなと。そうでないと都合というのがありますから。幸い今日はほとんどの方が来られているようですが、ごみ袋やら配らないといけないから準備をするのに時間がないからという中で 16 日には私の手元にこの案件の資料が届いてましたから、ほないつしたんやと言ったら結局それまでにやっているのか、その配っている間にやっているのだったら、7 月末か 8 月始めぐらいにはもう審議会を開けたのではないかなと。ということは事務局あるいは議長の都合で開催日が決められているとやっぱり思いますから、私も含めて来れる日に設定していくということでは、早めに決めておいた方が、というか委員がおられるときに決めておいた方がいいかなと思いますのでその点どうでしょうか。</p>
	会 長	<p>1 点目の議事録についてですけれども、委員の方が発言された内容、ご自身の発言内容を確認いただくということで配らせていただく必要はあるかなと思っておりますが、それでよろしいですか。</p>

		<p>日程につきまして事務局から何かありますか。</p>
	中川委員	<p>それだったら構わないのですけれど。この間ではなくその前にあった審議会の最後のときにも傍聴で来ていたんですけど、紙媒体を減らしていくべきだろうというのが委員の中からも出ていたから、そういう面ではとっただけで言っただけです。</p>
	高味課長	<p>議事録の関係につきましては、この後の確認事項でも事務局の方からも報告させていただきましてもう一度整理した形でのご議論を賜りたいと考えておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>日程につきましても、前回の第1回はそういう形になりましたけれども、今回、確認事項あるいは今日審議していただく内容等々を勘案しながらその後で決めていただくという形で事務局の方ではお願ひしたいと考えております。</p>
	会 長	<p>会議進行の状況によって会議の時間も変わってくると思いますので、今日の会議の後半で議論させていただくということで如何でしょうか。</p>
	中川委員	<p>基本的にはいいんですけど、ただ前回のように何人も抜けられるという中で決めるということはその委員の方々の都合というのは聞けない状態だったので、先程も言ったように冒頭でなかったら駄目だとは言っていないけれども、委員がいる時間の中で決めるというのがひとつ。それから、先程あまり長いこと喋ってもなと思って言わなかったんですけど、前回議長の方から審議会を9月に2回開くという話もあったけれども、あえて2回取る必要は、ということじゃなくて、予備みたいな形の部分としてはあってもいいかなと思ったんですけど。実はこの間課長と話をしている、焼却場の方の見学をしていないわけですから、そういうので見学という時間も取る方がよいかという話が課長からあったんですけど、そういうのも含めたら、9月の前半で1回、とりあえず取れる日は取って、どうせ9月に1回は取らないといけないから。で、話し合う中でどうしてももう1回いるとか、それが9月になってからいるという場合もあるじゃないですか。3回目をやった後に4回目が9月にいるとなったときも、前もって、やらなかったときには見学に行くとかいう日で予定というのが、なかなか早めに聞いていないと組めない方もおられると思いますので、そういう面も含めて委員がおられる間に決めていただきたいなと思います。</p>
	会 長	<p>そのようにしていきたいと思いますので、なるべくこの本体の議論を十分やった上で、その日程の話にいける形にしたいと思っています。よろしいですか。</p>
	中川委員	<p>委員が抜けなければ。</p>
	会 長	<p>なので、2時間半でちゃんと終われるように進めたいと思います。</p> <p>それでは早速ですが、確認事項ということで、第1回審議会の確認と本日の進め方ということで事務局から説明をお願いいたします。</p>
	中島係長	<p>事務局説明省略（配布資料の確認、第1回審議会の確認と本日の進め方）</p>
	会 長	<p>最初に、議事録につきまして、形式ですね。最初に要旨がきて、その後に実際の審議の経緯があるのですが、特にご意見を伺いたいのは、記名式でそれぞれの発言が記載されているということ、このような形でよいかということについてご意見があればお願ひしたいと思います。</p> <p>また、今日の進め方ですが、この後また個別に詳しく説明していただくことになっておりますが、進め方についてのご意見があればお願ひいたします。</p>

須内委員	議事録なんですけれども、要旨と書いていますが、要旨じゃなくて詳細ですよ、基本的には。
会 長	この1枚目が要旨ですね。
須内委員	1枚目が要旨で、この添付してあるのは要旨じゃないと。書き方は2通りあって、こういう細かく書く方法と、要旨だけポンポンと書いてそれに対してどういう内容だったかを書く方法と2通りあるんですけども、役所によってやり方は違いますが、国会なんかは細かくやりますが、ここでそういうことをやる必要があるのかどうかというのが。というのは、ここまで細かく書くと一字一句全部をチェックしないと、こんなこと言った覚えがないとかね、色々出てくるので、僕は要旨だけでいいんじゃないかなと。要旨というかこういう内容で討議した結果どうだったかと、これは次回検討とかいうような書きの方がいいんじゃないかなと。こんなにたくさんいららないですよ、大体4、5枚で終わりますよね。と思うんですけどね、どうでしょうか。
会 長	如何でしょうか。自治体によってはこの要旨の形だけで公表しているところもあります。また、それを公表しているかしていないかは自治体によって違いますが、裏方でこういう議事録をとっているところもあります。
関河委員	私も意見としては要旨でいいんじゃないかと。詳しくは、録音も録られていることですし、もし詳細に調べることがあれば事務局が録音を残していますので、議事録としては発言要旨を書くということでもいいんじゃないかと思います。
会 長	公表するものをどうするかということかなとは思っています。最初に、ホームページで公表するものとしてはこの要旨を公表すればいいんじゃないかというご意見として賜ったということによろしいですか。記録としては事務局で持っている。
中川委員	確認なんですけど、1枚目に要旨がありますよね、先程からの話の中で、数ページにまとめたものでいいんじゃないかという話もありましたけど、この審議会のときにここまでのものがあるのか、ということじゃなくて、ホームページにこれを全部載せるかという話ですか。
中島係長	少し補足をさせていただきます。本日お配りしている資料の、1枚目の要旨という紙につきましては、この審議会において前回の審議会で確認をいただいた事項を、再度整理をして確認させていただくための資料でございます。次のページ以降の会議結果と書かれた厚みのある資料につきましては、いわゆる議事録として事務局が案で示させていただいたものです。この議事録全体をホームページもしくは閲覧で希望者に公開をするかどうかということをご審議賜りたいと思います。
中川委員	ホームページに載せるということであれば、内容がどうなっているのか1回目のときに傍聴している方が録音するかしないかを許可するかという話がありましたけど、そうじゃなしに、こうやって載せてくれればどういう内容でどういう会議の状況だったかというのがよく分かると思うんですよ、そういう意味で言うと。私が冒頭に言ったのは、紙媒体でこの審議会の中でここまでの分厚いものはあえていらないんじゃないかと。紙を節約して。それこそその中身のものが先程他の委員からも出たように、数枚で簡単に書いてあって、ただホームページだけじゃなくて、もしどうしても欲しいという委員に関してはコピー

		<p>一を渡すという形で、ホームページとしてはどういう経緯があったのかということを見られるに越したことはないのではないかと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>会長</p>	<p>ホームページに公表するものとして、という観点からのご意見としては如何ですか、須内委員と関河委員。</p>
	<p>関河委員</p>	<p>実は木津川市議会については、今日の議事録の詳細についての発言があるようなものが公開されております。しかし、これを見るのはすごく大変なんです。私は、議会で必要な情報はどうしているかということ、議会だよりというものがありまして、そこに主な発言の要旨が載っています。それを元に追いかけるので、要はその審議会で何が議論されたかというものが掻い摘んで分かればいいんであって、詳細が必要な場合は事務局に尋ねて詳細を知るというスタイルが一番いいんじゃないかなと思います。私共の手元に来るものも、何が議論されたのかという要旨が、あるいはどの委員がどういう発言を要点として発言したかというものがあればいいんであって、私はこの細かいものは、自分の発言は読みましたけれどもあとはほとんど読んでおりません。</p>
<p>会 長</p>	<p>会長</p>	<p>仮に要旨のようなものを、この1枚目についているもののレベルではないものをやろうとするとまた仕事にはなりますが。</p>
	<p>山本次長</p>	<p>補足説明ですが、まず2つをホチキス留めしておりますけれども基本的には別物としてご理解いただけたらと思います。</p> <p>先程中島が申しあげましたように、最初の要旨につきましては、審議会の第1回から第2回の間時間も空いておりますし、次の第3回につきましても第2回の議論はどういうことをしたのか振り返りのための審議会の資料としての要旨が1枚のものです。それとは別に、先程から委員の方からも話がありますように、審議会としての議事録についても作成しなければならないと思っておりますので、この議事録につきましてはこのようなスタイルで作らせてもらってはどうかと思っております。</p> <p>ただし、これまでの廃棄物減量等推進審議会の議事録につきましては、発言者の名前については「〇〇委員」でありますとか、委員の名前を特定していなかったということがございます。また、事務局からの説明につきましても、資料がありますので省略という形で簡素化させていただいているところもございますけれども、前回の委員の審議の状況の中でこのような、これまでの廃棄物減量等推進審議会の議事録からすれば少し詳しくテープは起こしておりますけれども、これまでからこのようなスタイルでやってきたと。スタイルが違うところは、テープを更に忠実に起こしているというところと、委員の名前まで書かせていただいているというところがございますので、このような委員の名前まで挙げた上で議事録としてとりまとめるのかどうかというところで確認いただけたらと思っております。従いまして、議事録としてはこのような形で作成したいと思っております。関河委員がおっしゃられたように、それぞれの方の発言の場所というのはそれぞれの委員の方が承知だと思っております。前回会長がおっしゃったように、発言した言葉とそれを活字にしたときとはニュアンスが違いますので「そういう意味で言っていない」となってきますと、間違った印象を市民の方に与えてしまうことになってしまいますので、それぞれの委員の方の発言についてはそれぞれの委員の方でそういうニュアンスであったのかどうか、こちらのテープ起こしで誤りがあったのかどうかということを確認した上で議事録署名委員の方にもご確認いただき、議事録として整理をしたいと思っております。まずはこの1枚目と2枚目のものについては違うものであるということと、2枚目のものについても基本的には情報公開の中の一環でございますので、議事録についても公開をしていくというところでの確認をしていただ</p>

		けたらと思っているところでございます。
会 長		本審議会としてはこれまでもこのスタイルをとってきて、名前のところだけ変わっているということなので、名前のところだけもし委員の方でご理解いただければこの形で上げさせていただければと思います。
中尾委員		皆さん、色々なご意見を出していただいてありがたく思います。私、昔自分でテープ起こしをすごい日数をかけてやった経験があります。昔と違って今はITの色々なソフトがあるのでその点作業の方は軽減されると思うんですけど、私は続けてお願いしたいと思います。 私は前回の議事録を3回読みました。1回目はゆっくり読んで、あとは「あれ」と思うところをどんどん読んでいきました。やはり我々委員がこれから成果を挙げるために個人的に色々情報交換して、この方はどういうご意見をお持ちなのかというようなことを、作成には非常に時間はかかると思うんですけど、これだけ詳細な議事録をつけていただきましたら、どの方がどういう思考方法、論理方法で、どういうことを真剣に考えていただいているかというのが一番よく分かって、今後我々委員同士で色々な話を進める上で非常に参考になるので、僕はありがたいと思っております。
関河委員		私はこの件であれこれ議論するのは本意ではありませんので、従来からこういう形でこられて特に問題ないということであれば、形式に異議があるわけはありませんので、こういう形式で進めていただいても一向に構いません。あまりこういうことに時間を使いたくないので、先程の要旨だけでいいというのは撤回いたします。
会 長		この事項も予定している時間を押しています。端的にお願いします。
中川委員		確認なんですけど、この審議会でどこまでこの部分が今後出てくるのかと、ホームページに載せるものは切り離して言ってもらえませんか。ごちゃごちゃして分からないのです。
会 長		基本は、ここで配られている資料は終わったあとホームページにアップされるということですね。
中島係長		こちらの議事録につきましては、まだ議事録として、審議会の署名委員を含めて確認をいただいたものではありませんので、今日の会議が終わりましても直ちにホームページで公表するものではありません。署名委員のご確認をいただいた上で掲載をさせていただきます。そういったことで、申し訳ないのですが本日、傍聴資料の中にも含めておりません。 引き続き次回以降の審議会におきましても、前回の審議会ですといったことが確認されたのかということについては、こういった要旨をとりまとめた資料でまずは確認をさせていただく。それと、公表させていただくものについてはこういった詳細な流れが分かるものがよいという総論だったかなと思いますので、そういったようにさせていただきたいと思います。それにつきまして、皆さんそれぞれのご発言の内容に、こちらのとりまとめに際して誤りがないかどうかご確認をいただくために、一旦はご提供させていただきたいと思います。それぞれ内容をご確認いただいて、修正等あれば事務局で集約をさせていただく。そういうものもまとめた上で、最終版につきましては、署名委員の方にご署名いただきましてホームページ等で公表させていただきますので、必要がある方は事務局にお申し出いただいて提供させていただくと、そういったことにさせていただければどうかと思います。

	中川委員	<p>その上で確認といたしましては、お名前について掲載をしてよいのかどうかというところと、ここまで具体的なものでありましたら、傍聴者の録音については運営内規のとおり認めないということでよいかどうかだけ確認をお願いいたします。</p> <p>こればかりに時間を使っては、と私ももちろん思います。ただ、ホームページにこれがそのまま載るといふふうには実は思ってなかったもので。この議事録がそのまま載るとしたら、先程他の委員からもあったように、載せ方なのですが、議事録をそのままずっと読んでいかないと内容が分からないじゃなくて、私に関して言えば要旨だけでは頼りないなと思うので、要旨よりはもうちょっと広げた数ページのもので、まずはどんなことをやっているんだという確認を市民がホームページでできて、その中で、もう少し詳しく知りたいなという中で、始めから終わりまでのこういう分厚い流れのものを見て、こういう議論があったのかということが分かるようにできないのかなど。というのは、先程他の委員からあったように、詳細で分厚いものがあったらこれを読んでみようという気にはなかなかかなりにくい、やはりどんなことをやっているかということを見やすくする部分も必要でないかなど、ホームページに関しては思います。</p> <p>次に、我々、発言内容の確認ならば、これをホームページに出すと思っていなかったものですから、この中の自分の発言、やりとりの中身をきちっと確認をしたいなというふうに思います。確認というのはニュアンスが違うなどの確認を自分でして、各委員がOKを出す話ではないかなど。発言したときのものと違うことを言うわけじゃないですが、そういう確認の場というのは必要じゃないかなと思います。</p> <p>最後に、さっき中島係長からあった録音どうこうという話は、おいおいで、という形で残してあるものなので、確認事項のひとつ目のでちょっとあれ、と思ったのは、今日決めなければならないのか、と。今日決めてもいいんですよ、今までどおりでも。別に不具合が出たらその時、後々でも変えられるのならばよいけれども、そうでなかったら、一応課題として残しておいてほしいと思います。</p>
	城野委員	<p>前回欠席して、今日分からず、木津川市の廃棄物減量に関する審議会に僕は出ると思って来させていただいて、冒頭ありましたけれども、今日審議する項目が4点あるという中で、席の正面が時計なのでそればかり目に入ってしまうと、あと1時間15分でこれができるのかどうか。できないのであれば、この審議が終わってから今されている審議の方をお進めになられたらいいんじゃないかと私は思います。私は、事務局の判断に従おうと思っておりますが、このままでいけば私も途中退席しなければならないことにもなってきますので、先に審議の方を進めていただければと思います。</p>
	委員	<p>〈異議なしの声〉</p>
	会長	<p>確認ですが、議事録については記名ということでよろしいでしょうか。</p>
	城野委員	<p>後回しにしてくださいと。これのやり方について私自身は事務局のやり方に従いますので、それは後回しにして先に重要な審議を進めていただいたら、事務局にお任せするのであれば退席も可能かと思っておりますので、先に重要な審議しなければならぬことを進めていただきたい。</p>
	会長	<p>議事録をどうするかということは、公表するものなので、重要なことかと私も思っています。まず、記名でよろしいですか。</p>

関河委員	<p>前回と同じで結構です。私は事務局の案に従います。それから、議事の進め方で、ある程度時間を決めて、その範囲内でどこかで決を採るという進め方をしないと、本当に時間ばかり食ってしまうので、その辺ひとつよろしく願います。</p>
会 長	<p>最後確認ですけれども、議事録として公表するものはこの形態のものを公表すると。審議会で録音するかについては、今の内規でやっていってもし問題があればまたその時に議題として出していただくということによろしいでしょうか。</p>
須内委員	<p>前回と違います。前回は議事録に委員の名前は出ていません。</p>
会 長	<p>委員の名前はそういった形で議事録を事務局で作成するということによろしいでしょうか。</p> <p>次の議題ですけれども、先程ご提案もありましたように時間を切って進めさせていただきたいと思います。次の議題は 20 分ほど時間をとっているのですが、15 分程度で進めたいと思います。「家庭系可燃ごみの排出量と財源見込額」ということで事務局から願います。</p>
中島係長	<p>事務局説明省略（家庭系可燃ごみの排出量と財源見込額）</p>
会 長	<p>この事項ですが、今後の目標としてどのような目標があるのか、そしてこの後議論していただきますが、減量施策について議論する際に、主に次回になると思うのですが、財源がどれくらいあって、ということのをベースに議論することになると思います。</p> <p>これは確認事項ですので、質疑応答ということでもし何か確認したいことがありましたら願います。</p>
中川委員	<p>説明会のときは、必要経費などを避けた後に 1,800 万円ほどが残るという話を聞いていたのですが、今は 2,600 万円ということで、何故 800 万円も違うのかを訊きたいです。</p>
中島係長	<p>まず 1 点目は、説明会のときに使用していた資料等については、まだ実際の必要経費が明確になっていない、と言いますが、予算段階の必要経費を計算していたかと思えます。今年度は実際に入札等をかけまして明確に金額が確定しております。入札等をかけますと必要経費として若干落ちてくる場所もありますので、そういった差分もあるということでご理解いただければと思います。</p>
中川委員	<p>予定していた分と、実際入札して出てきた確定金額との差だということ、それが 800 万円もあるという認識でいいですか。</p>
中島係長	<p>正確に全て、というわけではございません。今現在で最新の平成 29 年度のごみの排出量まで、その実績までを含めて、将来の排出量を予測させていただき、今この時点で最も確からしい数値としてお話しさせていただいているのが本日の資料ということでご理解いただきたいと思います。</p>
会 長	<p>今日の値も今後変わってくるかとは思いますが。</p>
中川委員	<p>説明会のときに出していたものと、年数のスパンが違うということですか。</p>

高味課長	<p>説明会につきましては、平成 27 年度の排出量に対して計算をさせていただいております。今回は全ての実績値からの算出という形で若干差異が出てきたというご理解をいただきたいのと、必要経費につきましては当初 3,500 万円と見込んでおりましたが、入札残等によりまして 5~600 万円の残が出てくるという形での差異になっていると。それを合わせまして約 800 万円程度の差異が出ているという形でご理解いただきたいと思っております。</p>
中尾委員	<p>私は現役のときに見積りの査定や契約をやっておりましたので、この有効活用金額 2,600 万円が以前の説明より増えたということは、入札もやっておられるので、私は何の異議もありません。以前の説明より有効活用金額が減ったのであればそれは問題ですが、時間も何分冒頭 50 分もかかっているのです、僕は異議はありませんので、他の方がどう思っておられるか。</p>
須内委員	<p>この間配られた黄色い袋を見ますと、株式会社文政という名前が出ていますね、これ中国産なんですよ。この文政というのは一般ごみの業者ではないですか。そこがごみ袋を販売しているのですか。</p>
中島係長	<p>ごみ袋の作製業者につきましては、木津川市の入札業者としてごみ袋の販売で登録をしております業者に見積を取りまして、選定をしております。特段、一般廃棄物の処理業者から選定をしていることはありませんで、そういった資格要件については確認をしておりますので存じ上げていないというところ です。</p>
須内委員	<p>この会社は〇〇県の〇〇町ですかね、そこでも同じようなごみ袋の有料化で応札しているんですよ。そのときはちょっと高く取れなかったんですけども、そのときの値段と今回の値段のズレは大体開いてくる。基本的にカラーの袋って高いんですよ、それだけ着色剤を使っていますから。何故黄色い袋にしたのか私は分かりませんが。通常、透明ですよ、平和堂さんもいらっしやるから分かると思うんですけども。スーパーの袋なんてこんな 1L1 円もしませんしね。それがちょっと私が気になったところなんですけれど。ただ、木津川市の予定価格見ますと 2,314 万 7 千円ですか。インターネットでやってみました、結果は分かりませんが。仕入価格がいくらなのかは出てないんでね、ちょっと分からないところがあるんですけども。それでこの 1L1 円というのは妥当なのかどうか。これね、1 枚につき計算しますと平均でいきますと大体 24 円いくらになるんですよ。〇〇町のは一桁違うんですよ、3 円近い。その辺気になったところなんですけれどね。</p>
中島係長	<p>まず、袋の製造費と 1L あたり 1 円の手数料とはリンクをしてこないんです。1L あたりいくらの手数料を頂戴するのがいいのかというのは、前回、この審議会でもご議論をいただいて決定したところで、製造費がそのまま手数料になっているわけではないということをご理解いただきたいと思っております。製造につきましてはできる限り安く製造ができますように本年度につきましては一般競争入札に付させていただいておりますし、適切な方法で調達をさせていただいていると考えております。</p>
須内委員	<p>今のね、経費 3,000 万円でしょ、それで売値が 5,660 万円でしょ、レートから言ったらすごいレートですよ。これ、一種の利益ですよ、2,600 万円。</p>
中島係長	<p>ですので、その差額をどのように活用するのかということはこの審議会でご審議いただきたいということです。</p>

須内委員	活用じゃなくて、まずこのレートが妥当かどうかというのがありますよね。普通そんなに取りませんよね。
中島係長	ただ、手数料の水準はもうご決定いただいておりますので、今この審議会でご議論いただくテーマではないということでご理解いただきたいと思います。
会 長	この収入の方は、ごみ手数料としていくら設定するかという議論の基に決められた数字から収入が決まるものなので。
須内委員	決定したからそれで進めて、1L1 円で、どのように活用するのかを決めてくれてこれはちょっと乱暴なんですよ。私も他所の県で審議会に出ていますけれど、こんな審議会ないですよ、はっきり言って。
会 長	ただ、有料化はごみの減量のためにいくら金額がいいかという観点で議論がされてきて、原価がどれだけあったかという話ではありません。
須内委員	皆さん、町内会で説明できますか。
会 長	金額を決められたときは、他の全国の色々な自治体の事例等も考慮しながらこの水準ぐらいが妥当なんじゃないかということで決められたということだと思います。その際に、そこで収入を得られるので、それをどういうふうにするかということ議論していくという形でこの場が設けられているのだと思います。 時間になりましたので、追加で何かありましたら事務局、ないしは私に訊いていただければと思います。 (2) 審議事項「家庭系可燃ごみの減量等に向けた事業の検討」について、資料の説明をお願いします。
中島係長	事務局説明省略（家庭系可燃ごみの減量等に向けた事業の検討）
会 長	今のような形で進めさせていただければと思います。できるだけ皆さんの意見を伺う形で、事務局の方でお考えいただいた案になっています。 お手元に付箋があるかと思いますが、それぞれの施策 1、2、3 について、ひとつずつくらい重要施策を挙げていただくという趣旨でよろしいですか。
中島係長	そうですね、それぞれの施策について重要だと思われる事業をひとつお書き出しいただければ結構かと思います。
関河委員	議論に入る前に確認したいのですが、まずこの審議会の趣旨を確認しますと、委嘱されたとおり、2,600 万円の収益を活用したごみ減量及び資源化事業の施策を決めるというのが我々審議会の役目ですよ。それにも関わらず、例でいきますと施策 3 に商店街街路灯 LED 化推進、つまりごみと関係のないものが入っているんです。地球温暖化というものがいつの間にか、ここに入っているんです。我々の審議は、地球温暖化を考える場ではありませんので、この施策 3 というのはそぐわないと思うんです。だから、この場で議論するのは施策 1、2 に絞って議論したいと思うんですが、皆さん如何でございましょうか。
会 長	事務局との事前の打ち合わせのときに私も質問したのですが、例えば京都市だと財源を使って温暖化対策などもやるとフレームの中に入っているようで、そういう先進事例として挙げていただいているので、この審議会としてそれが

		<p>妥当かどうかを検討いただいて、もしそれは温暖化対策としてやることなんだから有料化で得られるお金を使ってやることじゃないということであれば行う施策の中に挙げていただかなくても結構です。</p>
関河委員		<p>もう一度確認します。手数料収入の使い道を市民にどういう説明をしているかという、お試し袋のパンフレットでは「有料化による手数料収入は、ごみ減量施策や不法投棄対策など、ごみ減量が更に促進するよう大切に活用します。」とあります。地球温暖化なんて一言も書いてないんです。だから、今回これは施策3を取り除いて検討したいと、そういう共通認識を持ちたいと思いますが如何でしょうか。</p>
中尾委員		<p>地球温暖化防止は関係ないんじゃないかというご意見を賜ったんですけど、ごみの減量、ごみの中から有効資源を回収してそれを環境に繋げていくという地球温暖化防止のことで、今お持ちになっているチラシの方に地球温暖化防止というのが一言も入っていないじゃないかというのは、ちょっとまた後の議論にしてですね、次のパンフレットのときに検討したらいいと思うんです。私の地域活動、市民活動の経験からいきますと、この家庭系可燃ごみの減量等に向けた事業というのは、正しく未来の子供たちのため、地球温暖化防止活動の中の一分野であって、ただ地球温暖化防止活動というのはこのいただいた資料の中には大いには入っていませんけれども、私は国連のSDGsの中の一環であってですね、やはり何事を考えて検討するにしてもひとつの題目だけに捕らわれずに、全部生活して生きるために繋がってますので、商店街街路灯LED化推進事業というのは入ったとするとこの資料の中では間違いだととられる方もいると思いますが、私としては広い見方・考え方でいいなと思っています。異議は私は全然持っておりません。</p>
中島係長		<p>少し、今の2つのご意見に補足だけさせていただきますが、3つ目の施策・政策統合イコール地球温暖化防止対策というわけではございません。政策統合、市役所の組織は縦割りで、環境施策というとまち美化推進課だけが行うというふうに思われがちなのですが、やはり学校教育の中でごみの減量や正しい分別を学習していただくということも大切なことですので、その政策統合全般の中に、今回資料として地球温暖化防止というのを含めてしまいましたので今のようなご意見を頂戴したのですが、施策3・政策統合そのものは、そういった広い意味合いを含むということで生かしていただいて、ただ、地球温暖化対策そのものずばりに使うことに対してどうかということがあるようでしたら、あちらに具体的に挙がっている事業の中で、例えばどういったものが地球温暖化防止かというのをお考えいただいた上で、除くべきだというご判断を頂戴できれば結構かと思えます。</p>
会 長		<p>例えば、施策2の中にフードバンクの話がありますが、これもどちらかというと福祉との統合施策のような、福祉にも良いし廃棄物にも良いという施策としての位置づけの方がいいのかなというものもあります。最近福祉分野としては高齢者のごみ出しですね、なかなか自分でごみを出せない、というところを福祉部門と連携して、上手く分別して出してもらおう仕組みをつくるというようなことも統合的な施策かと思えますので、そのような観点からご意見をいただければと思います。</p> <p>それでは5分程度時間を取りたいと思います。それぞれ書いていただいて、書きましたら手を挙げていただいたら事務局の方で回収に伺いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>〈意見出し〉</p>

<p>会 長 関河委員</p>	<p>皆さんから意見を出していただきました。</p> <p>一点、文章でなかなか言えないので説明させてください。ごみの分別と出し方ガイドブックでは最初に可燃ごみとあるじゃないですか。発想が全然前と変わってなくて、可燃ごみのところに紙類と書いてあります。だからこれを見た人は紙類は可燃ごみだと思っているんですよ。そういう作り方をしているんです。だから、このごみの分別と出し方ガイドブックをまず変えてください。ここには資源ごみと書いてください。で、資源ごみとして紙類、それからビニール・プラスチック包装容器を書いてください。可燃ごみの紙類というのは、資源ごみで出せないものを例外的に燃やすんです。ガイドブックの書き方は、自分たちで紙類は可燃ごみですよと言っておいて、それで可燃ごみに紙類が多いって。ちょっとね、私から言うと、あんたたち何やってんのっていうパンフレットなんです。だから、付箋には書きませんでしたけども、ぜひとも、このごみの分別と出し方ガイドブックのリニューアルをやってください。紙類は可燃ごみじゃない、基本的に資源ごみだという発想でこれを作り変えてください。これが文章でなかなか言えないので、追加でよろしくお願いします。</p>
<p>会 長</p>	<p>ありがとうございます。非常に貴重なご意見で、本質的な部分かなと思います。廃棄物行政の常で可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみのような順番が脈々と続いている中で、資源ごみが先にきて後にそれに入らないものがくるというのは、確におっしゃる通りだと思います。そういうことも木津川市としても進めていけば非常に全国にいい例にもなるかなとも思いました。</p> <p>それでは、皆様に向けて大体まとめてご報告いただき、少しだけ議論してこの議論は終えたいなと思います。</p>
<p>中島係長</p>	<p>皆様から大変貴重なご提言をたくさんいただきましてありがとうございます。複数の方から、似たようなご意見を頂戴したものにつきましては、まとめさせていただいています。</p> <p>まず、施策 1・環境意識啓発の事業としてご提案いただきましたものについては、市民とのパートナーシップで市民からの提案型の事業に対する補助というものを 2 点提案をいただいています。また、地域学習会、説明会、こういったものをしっかりと進めていってほしいというご意見を 3 つお出しいただいています。あとは、市民活動の表彰制度でありますとか、アダプトプログラム、また廃棄物減量等推進委員くるっとへの支援、こういったものを強化してほしいというご意見もございます。他にも、不法投棄対策をしっかりとしてほしいということと、例として資料に載っていなかったものとしては、エコ給食。神奈川県をモデルに実施をしてはどうかというご意見であるとか、今頂戴しましたガイドブックの改訂、まずはそういったところから意識啓発が必要じゃないかというご意見を頂戴しました。</p> <p>施策 2・家庭系可燃ごみの減量に向けた取り組みにつきましては、やはり、古紙類の減量に向けてしっかりと集団回収を強化してほしいというご意見や雑紙袋の配布というものを複数ご意見として頂戴しております。特に古紙の集団回収については、回収の回数を増やすとか、しっかりと補助金を増額して支援をするという具体的なご意見を頂戴しています。また、生ごみの減量につきましても、段ボールコンポストの利用促進にも十分取り組んでください、無料配布の個数を増やしてくださいという具体的なご意見を 2 つ頂戴しております。施策 2 で最も多かったのは、4 点頂戴をしているリサイクル事業の強化をしてほしいということです。リサイクル研修ステーションというリサイクルの拠点が無くなってしまうということもありまして、そういった拠点機能を確保してほしいということ、また、フリーマーケットの場所を提供してほしいということ</p>

		<p>で、具体的なモデルとして千葉県浦安市ビーナスプラザを参考に、そういった拠点の整備に取り組んではどうかといったリサイクル事業の拠点整備に関するものを4点頂戴しております。あとは、ペットボトルを利用したてんぷら油の拠点回収でありますとか、生ごみの水切り、こちらをもっとしっかりとPRをしていってほしいというものもあります。また、最近の流れにはなっていると思いますが、スマートフォンのアプリを活用してしっかりと分別を周知徹底していってはどうかというスマホ用の分別アプリが必要だというご意見も頂戴しております。</p> <p>最後、施策3の政策統合につきましては、学校における環境学習の支援、こういったものが必要ではないかというご意見を頂戴しております。また、自治会、町内会を含めて出前講座を充実してほしいということで、施策1・環境意識啓発の方にもご意見として反映されてくるかと思っております。あとは、フードバンクへの支援であるとか、福祉面で共助を中心とした取り組みを進めてほしいといった福祉活動と連携した取り組みというものが2点ご意見として頂戴しております。このような状況です。</p>
山本委員		<p>書いたけど見失ってしまったものがあって、施策3なのですが。</p>
中島係長		<p>レジ袋不要の方にはポイント提供を、というものです。こちらは、レジ袋の削減でごみの減量にも繋がるかなということで施策2にも跨って置かせていただいていたんですが、こういったスーパー、コンビニ等でのレジ袋不要者へのポイント付与、こういったことも検討したらどうかというご提案を頂戴しております。</p>
会 長		<p>ありがとうございます。今、おまとめいただいたことに対して何かありますか。</p>
		<p>今回議論のアウトプットとしては、どの辺が当面の重要な施策になるかということです。毎年手数料の収入が入ってきますので、途中から違う施策をやっていくということもあると思いますし、当面やって、施策が上手くいかなければ改善していかなければいけないのですが、当面どんなことをするかということで、重点的にやる分野を決めていかなければなりません。なかなかそれは難しいですけれども。とりあえず今回、複数の方から意見をいただいたようなものを中心に、次回事務局の方でまとめていただいて、次回の議論で、それに対してどれぐらいの事業量をそれぞれ実施するのかということのを案として出していきたいと思っておりますので、それを元にその事業量もどこにどれだけ事業を展開するかというのは色々なご意見があるかと思っております。その事業の量なども含めて議論させていただければと思っています。</p>
山本委員		<p>1点だけ気になったのが、数が多かった意見から取り上げるということだったので、私が出したエコ給食、循環型社会を具体化させていく格好で、そして子供たちに見て学習してもらっていくというものが、私1点なんですけど、エコ給食というだけでは分からないので、皆さんに1分でもお話しさせてもらいたかったんですけど、よろしいでしょうか。</p>
		<p>循環型システムということで、神奈川県大和市で行われているんですが、大和市では、ごみを減らして限りある資源を繰り返し利用する循環型社会への構築に向けた取り組みのひとつとして、業務用生ごみ処理機を各学校に置いて、学校でごみを堆肥化します。それを協力農家で二次発酵して、完熟堆肥化して、その農家の農作物を収穫したら今度は学校に納品し、学校給食で利用しています。その中で農業者との交流が行われたり、見学や修学体験も行われて、子供たちが農業者に触れるという活動も且つあり、地産地消の農産物も学校の子供たちに提供できるということで、子供たちが実際に循環型社会というものがど</p>

		<p>ういうものかということを経験して見ていく。これからの循環型社会を体験していくことができるということになっていて、2,600万円も資金があるので、是非ともやっていただきたいかなと思っています。私が調べたところでは、30kgのごみ処理ランナーという処理機で、300万円から400万円するので、全校で一度には設置できないと思いますが、1校、2校辺りから毎年設置してもらえばかなりの学校に付けられるのではないかなと思っています。</p>
会 長		<p>学校でのそういう教育は非常に重要かと思えます。学校教育の中での環境教育についてもご意見いただいているので、今は別のところにあるんですけど、学校での教育ということで、教育部門との統合的な施策ということで整理していただいて、この中で検討いただくというのもあるかなと思えます。</p> <p>もし複数出てなくても、やっぱり重要ではないかというご主張があればお願いします。</p>
中尾委員		<p>議事の進行上、時間配分の関係もあって、まさに今日ワークショップができたということはすごく前進だと思うんです。それで今日のワークショップの挙がったことで、これからの流れが決まるのではなくて、まだ3回目、4回目のための基礎の案が色々出たという形で取っていただいていると思うんですけど、今後何回もワークショップを繰り返していたら、もっと素晴らしい案が凝縮して出てくる可能性もあるので、その辺ちょっと確認の発言をさせていただきたかったんです。</p> <p>それと今後、2千何百万円かのこの数字も段々精度が上がってきて変わってくると思うんですね。そういう流れのものだと思います。次回、どの事業にどれだけの配分というのは、ちょっと早すぎるかなという感もするんですけど、そういうことに関しても我々委員がもっと色々勉強して、どんどん意見や提案が出せたらいいと思いますので、その辺の相談ですか、この集まりの時だけじゃなくて、まち美化推進課の方に色々問い合わせしたり、そんな問い合わせに対する資料はこういうのがあるよとか、そういう紹介とかしていただければ非常にありがたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会 長		<p>ありがとうございます。計画では次回にそれぞれの事業量について検討するということになっているんですけども、その時に「この事業はやった方がいい」というまた新たなものが出てきても全然問題ないと思います。次回までに案を作成していただいて、且つ今回挙がっているものは一応挙げておいていただいて、もしやるとしたらどれぐらいの事業費になるのかということも含めて資料としてご提出していただいた上で、じゃあもう一度優先的にやるべきものは何かというような形で議論進めていただきたいと思います。</p>
目片委員		<p>別の市町村に居た時もこの手の話題で有料化を経験しているんです。その時にどんなことが起こったか、ちょっと年月が経っているのでそのままは来ないとは思いますがご紹介したいと思えます。</p> <p>結局ごみ袋等が有料化になってきて、そのごみがどこに行くかと言うと、まずコンビニのごみ箱に行ったんですね。コンビニのごみ箱が店頭で溢れ、そうすると対策としてコンビニが店頭のごみ箱を無くしていく。そうすると次が公園とかスーパーとか、我々のショッピングセンターの駐車場であるとかの不法投棄と言うんですかね、そんな大それた不法投棄と言うほどのレベルじゃないと思われるかも知れませんが、これが結構な量ありまして、ここにも確かに監視カメラということが挙がってますけれども、これだけではちょっとなかなか、もうひとつふたつ何か案を導き出させて啓蒙していくような対策を是非とも考えていただきたいなというのを思っておりましたので、一言申し添えさせていた</p>

<p>会 長</p>	<p>できます。</p> <p>そこら中に監視カメラをつけるということにはならないと思います。そうすると、今度は皆さんの意識を向上させていくということになる、すると時間がすごくかかるという話になると思うんですが、もしまた次回までに何かいいアイデアがありましたら、次回にご提案いただければと思います。他の委員の方ももし良いアイデアが浮かびましたらお願いいたします。</p>
<p>須内委員</p>	<p>啓蒙なんですけど、私も色々市町村で経験したんですけど、謳い文句で言うだけじゃ駄目なんです。自分がよく聞くのは、やっぱり冷蔵庫の中とかに食べ残しがいっぱいあるのでこれだけ無駄なことをしているんですよ、ということはそれだけ生活費がかかっているんですよ、だからこれを減らせば生活費がこれだけ安くなるんですよという事例をパンフレットを作ってやれば、かなりの効果があると思います。要するに幾ら助かるんだということですね。ただ言ってるだけじゃ、先程仰られたように私も姫路でそれ経験しているんですけど、ごみが溢れて、ごみ箱が街から無くなってしまったというケースがあったんです。</p> <p>それから、古紙ですが、今段ボールとか新聞紙の原料が足りないので輸入しているんです。ということは、その分だけ費用が掛かっているということです。だから、新聞を買えばそれだけアップしてくるということです。やっぱりこれも生活費に影響してくるというようなことを具体的に考えた方がいいと思うんですよ。私も3番目の施策で挙げて紹介されなかったんですけども、生ごみのガス化、特に水素を作るんですけども、共同研究されて実施しようとしています。各市町村に声をかけているはずですよ。これ、木津川市でも取り上げたらいいんじゃないですか。その水素を何に使うとかと言うと、燃料電池のエネルギーとして使っていくと。それからもうひとつは別の方法として、炭化ですね、生ごみを炭化する。そのできた炭を高齢者用の介護用おむつ、あれ尿がいっぱいくっついて臭いものですから、そこに脱臭剤として中にすり込むんですよ。そうすると燃やすときも臭いが出ません。で、これ実際に今やっています。こういうのもやっぱり、さっき言った環境もそうですけど、具体的にこういうのをやっているんですよというのも事例として、これは主に官庁の話ですけども、そういうのも一応研究されたらどうかと。特にガス化のものが今募集しているはずですよ。一度調べられたらいいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは、もうひとつ大きな議題がありますので、次に進めさせていただければと思います。</p>
<p>中島係長</p>	<p>「継続的な点検・評価・改善の仕組みについて」を事務局からお願いします。</p>
<p>中島係長</p>	<p>事務局説明省略（継続的な点検・評価・改善の仕組みについて）</p>
<p>会 長</p>	<p>今回ご議論いただきたいのは、この3つの中の成果指標です。政策目標のところはもう計画の中で目標として出ていますので、成果指標のところでは今回ご提示いただいているもの以外にこういったものを成果指標として採用していただいた方がいいんじゃないかと、これについてご意見を伺いたいと思います。それをご説明いただく前に少し質問等がありましたら、如何でしょう。</p>
<p>関河委員</p>	<p>事務局にお願いなんですけど、説明の第3頁「目標と指標の関係性（イメージ：平成37年度）」に使っているこの数字がもったいないプラン24ページの数字と違うんですよ。だからわざわざ違う数字を使うのではなくて、もったいないプランに使っている数字をきちっと使ってください。違う数字を使うと混乱するだけなんです。今後こういうことが無いようにお願いします。例えば一般厨</p>

	<p>芥類の重量が本日の資料では 180g なんですけど、もったいないプランでは 191. 5g なんですよ。それでわざわざ何でこんな違う数字を使うのか私には理解できないんです。</p>
中島係長	<p>事務局から補足の説明をさせていただきます。</p> <p>もったいないプランの 24 ページからそのまま記載をしておりますのは、減量の目標の割合でございまして、8 割減らすであるとか、1 割減らす、こういったところについてはもったいないプランの目標をそのまま持っているんですけども、こちらの元になる数字、始めに何 g あったのかという数字につきましては、できるだけ最新の数値の方が良いかと思ひまして、平成 27 年に実施をした組成調査の数値を用いております。その点、十分ご説明できておりませんでしたので一点お詫びをするのと、1g 単位で議論をするというのがどれだけ必要かということもありましたので、10g 単位にまとめさせていただいて対応しております。今後、十分正確な議論をとということでありましたら、以後気を付けさせていただきます。</p>
関河委員	<p>平成 27 年度の組成というのが、私共の資料にはないんです。皆さんのところにはありますけど。だからそういうものを私たちが分かるような数字を使ってもらわないと。私が言いたいことは、事務局だけが知ってる数字を使って議論しないでください。私共はこのもらっている資料でしか判断できないんですから。混乱するだけです。よろしくお願ひします。つまらないこういう話し合いをするのも時間の無駄なんです。よろしくお願ひします。</p>
中島係長	<p>今後、資料に掲載する数値につきましては、バックデータも含めて提供するように努めさせていただきます。</p>
中川委員	<p>茶色の一番下のところに廃プラの重量 14.2g。あれっていうことは、こっちの水色のとこの 1 日 1 人あたりのグラム数ということですね。</p>
中島係長	<p>はい。</p>
中川委員	<p>これを見たらまだ分かるんですけど、その前も思っていたのは、この仕組みのところ、継続的な点検・評価・改善の仕組みのもったいないプランの減量目標のところであれば、全体としてパーセンテージ減らすんだなという捉え方になるんだけど、廃プラのところは 14.2g で何やねんと、で 1 日かなと思ったんですけど、ただ、1 人だという認識ができないんで。そう思ってた画面のものが出来たんだけど、画面のものならまだ何とか分かるけど、それでもその茶色のとこだけ見てたらピンと来ない。ましてや違う紙ならピンと来ないんで、やっぱり書いてください。</p>
会 長	<p>先ほど指摘いただいたものが資料-3②にあると思います。もったいないプランの減量目標として、古紙類の混入量を 80%減らす、一般厨芥量も 10%減らす、他の分別混入量、容器包装、びん・缶等すべて無くす。手付かずの食品の混入を 80%減らす。ビニール・プラスチックについては 1 人 1 日あたり 14.2g にする。という減量目標になっているんですけども、ここに挙げた指標はこの成果指標としての候補となるものかなと思います。それ以外にも追加すべきものということで計測しておいた方がいいんじゃないかというようなことについてご意見ありますでしょうか。</p>
山本委員	<p>色々区分されたものをどれだけ減らすかについて書かれているんですけど、1 日 1 人あたり 326g を目指しているということが、こちらの成果指標には書か</p>

		れていないなと思ったんですけど。
会 長		この整合性についてご説明いただけますか。
中島係長		平成 37 年度 1 人 1 日あたり 326g という目標につきましては、成果指標ではなくて、もうひとつ上の政策目標として大上段にお示ししておりますので、全て目標と指標をひとつの資料に落とし込みますと、前のスライドにありますように、しっかりとその一番上の目標についてもお示しをすることになります。今お手元にある資料につきましては、成果指標の議論に使うことを前提に作成をした資料でありますので、その点については欠けているということでございます。
会 長		ご質問の主旨で私が理解したのは、成果指標の数値が満たされると、政策目標の数値が満たされるか、ということです。
山本委員		そうなんです。例えば、古紙は 80% は減らなかつたけれども、他のところでもっと減らすことができた、結果的に 326g になった、という可能性があるもので、一番上の政策目標は 326g かも知れないけれども、一応成果指標の中に 326g が入っていると分かり易いと思ったんです。
会 長		なので、実際に点検するときには、成果指標・政策目標の両方見てもらう。成果指標だけを見るわけではない。この 3 つの段階全てを見ていきますので、その中で先ほど仰ったような、一方があまり減ってないけども、もう一方がたくさん減ったので全体では目標達成している場合もある。ですから状況を見ながらどうするかというのをまた検討してもらう。
関河委員		このもったいないプラン減量目標の 3 番目、他の分別の混入。これで容器包装全て削減となっておりますが、汚れた容器は可燃ごみとして出してくださいというふうに市自身が指示をしておりますので、完全にはできないと思うんです。だから、元々無理な目標を作っているのではないかと私は思います。それがどの程度のパーセンテージかは組成調査の資料が無いのでわかりませんが、そういう修正が必要ではないかと思えます。
中島係長		改めまして、再生可能な、資源として活用可能な容器包装の混入量をゼロにする、ということでもう一度確認をさせていただきたいと思えます。
会 長		組成調査の中で、可燃ごみに混入している容器包装のうち、これは本来容器包装に分別すべきであるというものを調べるということですね。
山本委員		この 30% 目指すというのはもう決まっていることなんですけれども、前回の審議会で渡していただいた参考資料に、表面に市長の名前があって答申が書いてあるものの 11 ページを読んだときに思ったんですけど、ほとんどの自治体で平均すると 20% のごみ減量が達成されていると。本審議会において平成 27 年 10 月の視察で行った京都市の事例では、可燃ごみが有料化導入後、約 28% の減量が達成されていると書いてあるんですけども、京都市ってものすごいですよね、色んな施策がされていて。浅利先生が今日お休みされていて残念なんですけど、浅利先生が出されている本「ごみゼロ大作戦！めざせ！R の達人」などを図書館で借りたんですけども、京都市と言えば、「始末の心」ということでごみ半減を目指す条例を作ったり、ホームページの方でも「もっぺん」ということで、色々リサイクルとか、直したりするお店がどんな所があるか、リペア・リユース情報をすごくいっぱい集めてみんなに提供している。こんなすごい市で

		<p>28%ということは、30%はかなり高い目標だと思うんですね。まあ決まったことなので仕方がないんだなあと思っているんですけども、今見ている成果指標の項目についてのタイトルを見ると、継続的な点検・評価・改善の仕組みについてということなんですけども、この評価ということで、これ、この30%目標を達成されたらどんな評価があるのかなというところで考えているんですが、須内委員も仰られていたように、1L1円は儲け過ぎたのではないかな。この30%のすごい目標が達成されたら、ごみ袋の単価を値下げするということを目標に掲げてもいいんじゃないかなと私は思っています。</p>
会 長		<p>こういう議論はどういう段階ですることになっているんですか。有料化の見直しの議論になると思うのですが。</p>
山本次長		<p>今の話につきましてはごみ袋有料化の説明会の中でも市民の方からも出てきているところでございますが、現時点において、有料化後のことについて議論するのは今の時期ではないということで説明させていただいております。先程会長からの話もありましたように、本審議会で議論いただきますのは、ごみの有料化財源をいかに活用していくのか、それと、本日の議論につきましてはそれを有効に活用するというのは、あくまでも政策目標30%減を目標としていくための具体的な施策と具体的な成果指標というところでございますので、この審議会の議論の中で30%達成したらどうするのかというところについては含まれていないというところで考えているところでございます。</p>
山本委員		<p>今の時点では考えられていないということで理解しましたが、ほぼ30%が達成できた時には、その議論に入っていたいただきたいかなと思っております。</p>
会 長		<p>これから毎年行っていく評価の中で達成度が非常に良いということになればそういうことも出てくるかと思しますので、そのときに考えていければと思います。</p> <p>追加する成果指標についてのご意見は如何でしょうか。</p> <p>先程ご指摘のあった、ポイ捨てされた物の量のようなものを計れるかどうかというのがあるんですけども、量的に計れなくても、そういった状況について一定調査をしてモニタリングしていくというようなこともあるかなと思しますので、指標というわけではないのですが不法投棄の状況なども把握して評価していくということも必要かなと思します。</p>
関河委員		<p>確認したいことがあります。この減量目標は、例えば古紙類の混入量80%削減するのは、平成37年度の話ですよ。それで、毎年検証するときには何の数値を使うんですか。それがよく分かりません。</p>
中島係長		<p>補足させていただきます。前のスライドをご覧くださいなのですが、37年度の成果指標まで政策目標の各年度の減少割合と同様に減少させてはどうかと考えております。先ほど資料-1でご説明させていただきましたが、始めの3年間で20%減少して、その後等差的に減っていく。これがごみ全体の減量の目標ですので、それぞれの要素につきましてもこれと同じような経過で下がっていくということを各年の目標にさせていただきたいと考えております。</p>
会 長		<p>このことについては次回出ますよね。</p>
中島係長		<p>はい。基本的にはそのような考え方で、次回で具体の数値をお示しさせていただきたいと思っております。</p>

会 長	<p>今日は、どういうことを指標としてモニタリングしておかなければいけないかということについての追加的なものももしあればご意見いただければと思います。次回、その毎年の水準、どのくらいの目標を達成するかということを確認させていただきます。</p>
中川委員	<p>すみません、私だけが分かってないのなら後で個人的に教えてもらったらいのですが、これの前に画面に出た資料-3①の 3 頁の水色の排出原単価というのがもうひとつ分からないんですが、その下に、成果指標による削減量というものがグラムが書いてあって、細かい数字は別として、それから真ん中の茶色の成果指標のところにグラムが書いてあるじゃないですか。それってこっち側の水色とか下の茶色のとは連動しているんですか。それが皆さんわかっているのなら後で教えてください。つまり茶色のやつの合計が下の合計と合わないなど。</p>
中島係長	<p>こちらの成果指標の減量効果、これを足し合わせたものがこちら成果指標による削減量の数値 135g になります。例えばこの一番上の古紙類の混入量ですと、60g から 10g へ 50g 減っております。次の項目である一般厨芥類の重量ですと、180g から 160g へ 20g 減っております。この減少効果を全て積み上げますと、約 135g になるということをお示ししているものでございます。</p>
中川委員	<p>そうしたら、この茶色のところのイコールで書いてあるグラム数の合計はどこに出てくるんですか。</p>
中島係長	<p>はい。茶色のところの、イコールの右側ですね。この 10g、60g、0g、0g、5g、14.2g というものが合計というものですか。</p>
中川委員	<p>そうそう、189.2g になります。</p>
中島係長	<p>これについては、この資料の中には出てこないです。これはそれぞれの組成や、この可燃ごみの組成、まだ減らせる部分だけを抜き出したものですので、これを最終的に合計しても特段何も数字というわけでもありませんので、この合計はお示しをしていないです。この減量目標を達成すれば、全体として 135g 減らせますということでお示しをしています。最終的にイコールの右にあるグラム数と、あと減量することができない難しいようなごみの組成、それを足し合わせたものが最終的にこちらの重量 326g になるということになります。</p>
会 長	<p>少しややこしいですが、よろしいでしょうか。 4 時半になってしまいましたので、ここで一旦区切らせていただければと思います。追加の成果指標としては可能であれば不法投棄関係のものをお示ししますのでお願いしたいと思います。 引き続き、次回また各指標の水準の議論をさせていただきますので、そのときにまた何かあれば追加していただいても結構かと思えます。 それでは最後、その他ということですが、よろしく申し上げます。</p>
中島係長	<p>その他といたしまして、まず一点目、次回開催日程についてご確認をいただきたいと思えます。本日、新しい事業を含めまして今後具体的に市として取り組んでいくべき事業を多数お示しいただきました。これらについて具体的な先進事例をお示しをいただいたものもありますので、そういったものもしっかり事務局として勉強させていただいて具体的な数値をお示しさせていただきたいと思えます。そのために、2 回目の審議会でも 9 月開催ということは十分聞いているんですけども、できましたら、10 月の 9 日の開催をお願いできないか</p>

		と考えているところでご審議いただきたいと思います。
会 長		如何でしょうか。今後の予定は、次回 3 回目ということになります。今日、冒頭でお示しいただいたスケジュールの後半部分ですね。今日議論いただいた事業についての事業の内容、それから先程議論いただいた指標のそれぞれの達成レベル。そういったことについてご議論いただいて、それを踏まえて答申案がその次の回に出てくるというスケジュールになっております。
中川委員		その 10 月にという意図を聞いてからとは思いますが。ただ、今日の冒頭だけでなく、前回も言ったように、1 回目の開催が滅茶苦茶遅くなって 7 月になっているにも関わらず、前回であれば議長から 9 月に 2 回というのもひとつの考え方だということもあって、ただし、あえて 2 回する必要はないということの部分は今日も私言いましたが、そういう中で、前にそういう話が出ていたにも関わらず何で 10 月なの。だから、なるほどなどというのがもしもあったとしても、前に 9 月に 2 回というぐらいの話があったのだから、ちょっとそれは如何なものかと。ちょっとというのは、大分ということですよ。
中島係長		皆様も様々ご意見あるかと思しますので、他の委員の方からもご意見いただければと思いますが、事務局といたしましては、始めに今後の進め方も踏まえて、どういった予定でステップを踏んで最終結論まで至るのかということをお示しさせていただきました。答申案をまとめる前に 4 段階のステップで答申案の材料を集めていきたいと思っております。本日予定しておりました到達点でステップの 2 まで到達をしております。次の開催でステップ 3、ステップ 4 と踏んでいただけますと、その次の開催で今までの材料をひとつの答申案としてまとめてご確認いただけるかと思っております。それについて修正が必要であれば、もう一度開催をして、もしくはその場で答申案としてご確認をいただけるようでしたら次に答申、ということになるかと思しますので、12 月答申を目指すのでありましたら、10 月 9 日に開催をして、ステップ 4 まで進めた上でもう一度 11 月に開催をして、答申案をご確認いただく。その上でもう一度 12 月に審議会を開いて、答申案を再確認する必要があったとしても、12 月中にご答申いただけることが可能であろうということで、しっかりと資料作成の期間を頂戴したいという思いもありまして、10 月 9 日という予定に合わせさせていただいたところです。
会 長		前回の議論ですが、早めた方がいいというご意見もあったと同時に、事務局が提案しているスケジュールでもいいんじゃないかというご意見も合わせていただいています。審議会としてどういうスケジュールにするかということについては、他の委員の方のご意見も伺えればと思いますので、如何でしょう。
関河委員		確認なんですけど、今会社勤めはしていませんが、普通会社では 12 月答申ともう決まっています。期限が切られているから普通は大体、何か起こって遅れてもいいように前倒して仕事ってやっていくんです。それで最悪遅れても大丈夫なようなインターバルをとって日程を組むんです。今の考えで私の理解は、何で 9 月にやらずに 10 月にするんだというのは、事務局として今日の内容を、一応色々な提案があって、それをまとめるためには色々な調査が必要だと、だからちょっと時間がかかるので 9 月はなかなか難しいと、で、10 月にするというお話なら私すごく理解できるんですけど、そういう説明もなくいきなり 10 月って言うとなんか「えっ、何で」って思うんです。だからもし、資料作りにちょっと時間がかかるためなんだということであれば、きちんとそういうふうに説明してください。ただ単に 10 月と言うとなんか「えっ、何で」って誰しも思うことですので、その辺遠慮なく仰ってください。

	中島係長	<p>すみません、先ほど申し上げたつもりだったんですけども、ああいった新しいご提案も頂戴いたしましたので、そういったものを十分調査をさせていただいて、正確な数字を積み上げてお示しするために、まず10月まで時間を頂戴したいというのがひとつです。それと、ある程度安全マージンを取って前倒しですることも考えてということもありましたが、それにつきましても、もし次の10月開催でステップ4まで行けたとすれば、11月にもう一度開催をしまして、答申案のご確認していただくことができますので、その場で案としてご確認をいただければ、11月答申が可能と。そして、やっぱりもう一度案そのものに対して議論する必要があるんだということになれば、12月にもう一度開催をしても12月中の答申ができるということで、事務局としては11月答申が可能かというスケジュール管理をしているつもりでございます。</p>
	中川委員	<p>いくつかあって分けて言いますけど、ひとつは前回のときにここにいた委員の中で、議長から9月に2回という提案があった中で、少なくとも、2回はあえて要るかどうかというのはここでは決めないでという話はあったけども、9月に少なくとも1回は、月に1回というのでやっていきましょうという最低でもその話はあったじゃないですか。議長、そうでしたよね。</p>
	会 長	<p>今回ご説明いただいた通り、資料の準備を十分にする、更には、説明されませんでしたけれども議会の対応などもある、そういうこともあって9月中ではなくて、10月の頭というご提案をいただいたと理解しています。</p>
	中川委員	<p>いやいや、私が聞いているのは、前回の時にそういう話でしたよね。</p>
	会 長	<p>ですが。</p>
	中川委員	<p>ですがじゃなくて、そういう話でしたよね。審議会の中では、9月に2回というのでいきかけたけど、それはちょっと置いていて月に1回というペースでという話はあったじゃないですか。</p>
	会 長	<p>ご意見としては賜っていますが、前回、結論としてそれを決めたわけではなくて、とりあえず次回を今日にしましょうということに決めたんです。</p>
	中川委員	<p>それを言うのであれば、議長から9月に2回を考えたらずと提案されたぐらいじゃないですか。</p>
	会 長	<p>ええ。それは私の案として提案したんですが、最終的に皆さんのご意見を伺った上で今回は本日にするということを決めて、その議論を受けてそれ以降のことも決めましょうと。その場で9月にやりますということの合意はしていないと思います。</p>
	中川委員	<p>それならばそれで置いてね。もうひとつは、前にも言ったかと思うけど、最終から逆算していってみれば、いつ頃っていうのは1回目のときでも、2回目はいつ頃に、3回目はいつ頃っていうのが提案される話じゃないですか。それがなされていなくて今回に関してはこの中で次はやって、その次11月でやって、12月は予備でいけますよっていう、それやったら、1回目をやるときに何で3月末とかで4月から始まるやつが大分経ってから7月に1回目が開かれるなんて、そんな時間がかかってどういう見込みで見ているんやっていう話を訊いたじゃないですか。ほんなら1回目のときに、きちっとしたその辺の組み立てをして出すのが当然じゃないですか。で、今日も1回目の日を決めるとき</p>

		に、8月の1日から17日まではお試し袋を配らんなんから準備ができないんだという話だった。ところが、16日に私の手元に資料が来てるんですよ。ほんならこれいつ作ってんねや。配っている間に作っているんだとしたら、8月の17日までは忙しいからできないっていうのは理由になってない。その理由になってないことを1回目のときに言って日にちの設定をしてるってことになるじゃないですか。それ、おかしいでしょ。
会 長	中川委員	今日も時間が既に超過していますので。
	中川委員	だから、私は始めにそうならないように先に決めるなり、少なくとも委員が途中でいなくなって日程を決めることのないようにしてほしいって言ったじゃないですか。違いますか。
会 長	中川委員	日程を決めるために、1時間議論するのはあまり意味のないことではないかなど。
	中川委員	日程を決めるために1時間議論するんじゃなくて、日程を決めるのに、次にいつにするかっていうのは事務局で先を見通したやつのもっと1回目のときからちゃんと出すべきじゃないのという話です。今回に関しては今後論でこうだって言うけど、それだったら1回目のときに出しなさいよ。で、そこに出したスケジュールで色々意見が出てそれをまとめて時間がかかるからって、はっきり言って意見を出すにしても今日のは私からしたら性急な部分もすごく感じましたよ。審議会でこの内容に関しての話をしていく時間をとるのはもちろんだけど、審議会に初めて参加したらどういうことを決めないといけないかをぱっと言われて、はいこれでいいですか、決めます、って考える間もなく決めていかれたら、後で言ってももう決まったからっていうのでされたら、分からないので黙っていたらそれでスルーされていくっていうのでは具合悪いから訊くんですよ。そして意見も言うわけですよ。で、それで時間がないから、時間が取られたからって言われても分からない者が参加してるんですよ。あなた方は前から参加しているから分かっているのかも知れないけど、分からない者からしたら分からないから訊くんですよ。中にはそりゃ分からないから何を訊けばいいのか分からないという人もいるかもしれないけど。だから、おかしいでしょ。前回、今回が8月22日開催になったのも、結局のところ、7月の終わりや8月の始めに取れないのは、議長が自分の日程に無理があるって言っていたじゃないですか。ということは、あなた方の日程の都合で決められる。だから私今日も言ったんですよ。で、1回目の冒頭でも言ったように、委員は議長であろうが他の委員であろうが皆対等ですよって確認したじゃないですか。ということであれば日程にしても、議長と事務局の都合のいい日で先に決めるようなやり方はやめてくれ。これは前にも言いました。我々は蚊帳の外なのか。色々なことを決めるのに、議長やらを決めるのも出来レースで始めから決まってあるって前のときも俺言ったけど、だから始めから橋本委員が会長になっている諮問書も先に作られていて、それを配られるっていう。そういうので時間をとるのも何だから私はそこで止めたけど、日程にしても色々なことが出来レース的にやられたら私は何のためにこれ来てんねん。前回も言ったけど、公募で委員が来ていたら、それで市民が参加しているからって言って都合のいいように使われるのはたくさんだ。
	山本次長	まず日程なりスケジュール感の話ですけれども、それにつきましては前回の審議会のときに大まかなスケジュール感については説明させていただいたということで記憶しております。その上で先程話にもありましたように、最初の会議の運営内規でありますとか、そういった取扱いについて予想以上に時間を要

		<p>しましたので、そのあたりのことにつきまして十分な議論が深まっていないということもありますけれども、先程関河委員の方からもご指摘がありましたように、どのようなスケジュール感を持っているのかにつきましては一定、前回の審議会の中でも説明をさせてもらっていたと思います。その上で、議論を深めるためにやはり資料作成も必要だということで、会議の日程を決めて資料を作っていけばいいじゃないかという話もあるかも分かりませんが、やはり資料作りにつきましては事務局としても責任を持って出していきたい。今日も委員の中から資料の根拠でありますとか色々なところでもご指摘をいただいたところでございますので、十分議論を深めていくためにはきちっとした資料作りも必要だということで先程提案させていただいたところでございます。</p> <p>それと、会長のお立場、委員のお立場、同等じゃないかという話もございましたけれども、会議につきましては議長である会長が開くということでございますので、会長不在のまま審議会というのは通常開くことはできません。従いまして、会議の日程につきましては、あらかじめ会長が出席できる日を選んで皆様方に提案するというのが通常の仕組みでございますので、会長と出来レースで日程を決めているのかといったようなことについては、審議の都合上こういったことをせざるを得ないということでございますので、委員が皆さん同等だというのは、意見を言う立場としては同等かもしれませんが、審議会を開いていくということにつきましてはやはり会長との日程調整がなされない限り審議会は開かれないということでございますのでご理解いただきたいということでございます。</p> <p>それと、先程言いましたように 10 月の会議日程ということで提案させていただきましたけれども、審議会の中でそれはやはり 9 月中に開いた方がいいだろうという皆様方の意見でございましたら、会長と日程をもう一度調整させていただいた上で皆様方に日程の通知をさせていただきたいということでございますが、それでも良しというところであれば再度会長との日程調整をさせていただきますけれども、日程については事務局の方で先程提案させていただいたような理由によってでございますけれども、委員の皆様方の中でどういうふうに扱うのかにつきましてご意見をいただいた上で対応させていただきたいと思っております。ただし、先程事務局としてはできる限り議論を深めていただくために頑張って前倒しで資料を作ったわけでございますけれども、それであればもっと早く開けたじゃないかという逆のことを言われてしまいますと、事務局としても資料を頑張って作っているというところの努力というのが皆様に伝わっていないというのが残念に思うところでございます。9 月の開催となりますと、先程言いましたように、資料につきましては当日配布もしくは直前の配布ということもあり得ますけれども、それも承知の上で 9 月開催ということで調整するというところで審議会の皆様方の意見がまとまるのであれば、先程申し上げましたように会長と調整させていただいた上で後日会議日程を連絡させていただくという形でお願いしたいと思っております。</p>
会 長	中尾委員	<p>中川委員のご意見は伺っているんですが、その他の方のご意見も併せて伺わないとバランスが悪くなってしまいます。</p>
	中尾委員	<p>前回から今日の流れをずっと考えていたら、ここはやはり 9 日じゃなくて 1 週間でも 2 週間でも会長と事務局の方で日を打ち合わせしていただいて、それで再通知をしていただくっていう方向で、と私は個人的に思います。そうじゃなくて、他の委員の方が我々の都合もあるんだから後で連絡されるのは困るとね、確かにそういう面もあります。やはり、市民活動地域活動っていうのは 9 月準備段階で 10 月 11 月といたら最高のピーク点なんですよ。私は 10 月 9 日という提案が出たときに正直「えっ」と思いました。</p>

須内委員	<p>実は9月は3連休が2回あるし、10月も頭に1回あるんですよ。事務局の実働時間を見ますと明日から240時間です。資料作成で1日何時間使うか知りませんが、私はこの時間が精一杯かと思うんです。事務局は別にこれ専門にやっているわけではなく、他の仕事もやりながらこれをやるわけですから。ずっとカレンダーを見ていきますと、ちょっと厳しいんじゃないかなという感じはしました。10月9日も3連休の後で休み明けなんですよ。だからこれもちょっと厳しいと思うんですけど、もし決まれば私は出てきますけどね。</p>
会 長	<p>5時には終了したいと思います。なので、どこかのタイミングで多数決で決めることにせざるを得ないと思いますので、9月開催で調整し直すのか、事務局から出た10月9日で開催するのか、中川委員が発言された後多数決を採りたいと思います。</p>
中川委員	<p>始めのときの議事録を決めるやつもそうですけど、何か話をして最後のところで多数決なんなりで決めていくってなるから、審議会だからもちろん本体はごみの減量化のことだけど、やっぱり分からないことがあってやっぱり時間もあるから、時間を取ってよってというのは前も言ったんですよ。日程も最後にばたばたとなるから先に決めてよって言ったのはそこなんですけどね。先程も、今からの時間で休みもあって240時間という話も出てましたけども、それってというのは前のときも分かっている話じゃないですか。でもある意味ね、連休入る、でも9月にやる、それで議長から9月に2回っていう話もあったくらいなのに、だから私は見通して言ってるんですよ。ケツから勘定して見通しも出すのならば、そういうのも含めて見通しも立てたやつを事務局が出せばいいんじゃないか。(事務局から出したという旨の発言あり) 出してないやろ。</p>
中島係長	<p>前回ご案内しています。</p>
中川委員	<p>いや、ほんなら9月に2回とか言って、前回1回目のときにぐらまでの話があって2回は別にしても1回は9月にという話になっているときに、8月22日に次をやればその次の準備やらにおいて9月中には実際のところは無理なんですと、次長が言った資料を当日や前日に渡すのでいいんですかっていうのはある意味、語弊があるけど、なんか脅されているみたいだと思うんですよ。で、それならなんで前のときに言ってくれないの、という話ですよ。我々以上にそういう見通しやら段取りやら大変なんでしょう、だから私今日も冒頭に「ご苦労さんでした」という話をしたくらいですよ。で、先を見通してますよっていう係長の今の話やったら何でそのときに言わないの。</p>
会 長	<p>もう時間ですので、皆さんもこの後の用事もあるかと思しますので。</p>
中川委員	<p>決定は事務局の方でしないにしてもアドバイスをしてくれりゃいいでないの、そういうことに関しては。それと出来レースだと言ってるのは、始めの会長を決めるのは出来レースだったでしょ。それ以外に関しても、出てくる日、議長が来れないときは副議長が代わってするわけだから、議長だけの話じゃないですよ。だから、議長のだけで日を決めるんじゃないしに、前もって訊ける部分は委員にも訊いてくれよ。意見を言うのは対等なだけの話じゃないでしょ。ちなみに、これで時間ないからって多数決で決めて結構ですけど、私は拒否しますけどね。</p>
会 長	<p>時間ですので、先程事務局から提案のあった日付で開催するか、改めて調整をして9月に開催するのか2択で挙手をお願いしたいと思います。</p>

	<p>中尾委員</p> <p>会長</p> <p>山本委員</p> <p>会長</p> <p>金森部長</p>	<p>私は9月にはこだわっていません。繰り返しになりますが1週間でも2週間でも早くご検討いただいて再通知でもいいということでの扱いです。</p> <p>事務局提案の方で開催ということが多数でしたので、その形で進めさせていただければと思います。</p> <p>確認してほしかったのが、この会議録が名前が入る入らないというところで、私は名前が入った方がいいなと思ったんですが、人数確認はお願いできないですか。</p> <p>はい、ではそれもよろしいですか。最後、記名しないということを出していただきましたけれども、記名するかしないかということについてもご意見伺えればと思いますので挙手をお願いいたします。議事録については、今回事務局で提案いただいたものは名前が記載されているものになりますが、そちらがよいか、前期の審議会までのおおりのとおり、委員については「委員」とだけ書かれている議事録の方がよいか。記名がよいという方、挙手をお願いいたします。名前を入れない方がよいという方、挙手をお願いいたします。</p> <p>記名が多数でしたので、議事録は記名するということになります。</p> <p>どうもありがとうございました。なかなか時間の中で終わることが難しいのですが、次回またよろしくをお願いいたします。</p> <p>本日予定をしていた内容は以上になりますので、最後、事務局からお願いいたします。</p> <p>〈部長あいさつ〉</p>
<p>その他 特記事項</p>		